

嶺南地域公共交通網形成計画 進捗状況

資料5

事業1 公共交通の利便性向上

No	取組み(事業)	令和2年度実績	令和3年度(今後の予定)	新規/継続	スケジュール					事業主体
					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
1	小浜線の増便・利便性の高いダイヤの設定	・新型コロナの影響を踏まえつつ、より利便性の高いダイヤについて検討	・引き続き検討	新規	検討・調整・準備・可能な段階で実施					県、市町、事業者(鉄道)
2	敦賀～京都北部(舞鶴市)間の時間短縮	・実現可能な時間短縮策について検討	・引き続き検討	新規	検討・調整・準備・可能な段階で実施					県、市町、事業者(鉄道)
3	列車運休時の代替交通手段の確保などの運休対策の強化	・運休時の情報提供の拡充策について検討 ・代替交通手段の確保や運休区間の減少策について調査・検討	・引き続き検討	新規	検討・調整・準備・可能な段階で実施					県、市町、事業者(鉄道、バス)
4	小浜線を補完するバスの運行	・三方五湖エリア広域バスの実証運行(R2.12)【嶺南振興局】 ・三方五湖エリア広域バス実証運行の結果を踏まえ、二次交通のあり方を検討【嶺南振興局、美浜町、若狭町】 ・三方駅・熊川(上中駅)の補完バスについて検討【若狭町】	・移動の利便性向上を図るため、三方五湖エリア広域バスを実証運行し、利用者アンケートや専門家の評価などを通してルートやダイヤ等を検証【嶺南振興局、美浜町、若狭町】 ・三方駅・熊川(上中駅)の補完バス実証運行予定【若狭町】	新規	検討	試行	実施			県、市町、事業者(バス)
5	小浜線の運行に応じた接続するバスのダイヤの調整	・コミバス、大和交通名田庄線、福井鉄道菅浜線・大島線・本郷線のダイヤを調整(R2.4、R2.10、R2.11)【美浜町、小浜市、大和交通、福井鉄道】 ・オンデマンド交通の導入について検討【小浜市】	・オンデマンド交通の導入検討を含む「地域公共交通計画」の策定(案)のとりまとめ【小浜市】	継続	継続的に実施					県、市町、事業者(バス)
6	市町現行バス路線等の持続的な運行	・路線バスやコミバス車内の抗ウイルス加工等の感染症拡大防止対策を実施【各市町、バス事業者】 ・コミバス、福井鉄道菅浜線・大島線・本郷線の一部で増便や運行ルート見直し(R2.4、R2.10、R2.11)【小浜市、美浜町、おおい町、福井鉄道】 ・デマンドバス導入準備【おおい町】 ・コミバスの一部路線にノンステップバス導入(R2.10)【小浜市】	・庁舎の建て替えに合わせて、R4年度に向けて市役所へのコミバス乗り入れを検討【敦賀市】 ・小浜線とコミバス定期の共通利用について検討【小浜市】 ・道路工事に伴うコミバスの運行路線(代替路線)について検討【小浜市】 ・R4年度の道の駅開業に向けた、バスルートやダイヤ改正について検討【美浜町】 ・デマンドバス「うみりんスマイル号」運行(R3.4～試行運行)【おおい町】	継続	継続的に実施					県、市町、事業者(バス)
7	市町を跨ぐ移動手段の充実	・各市町の地域公共交通会議の内容を情報共有	・引き続き各市町の地域公共交通会議の内容を情報共有 ・三方五湖エリアバスや三方駅・熊川(上中駅)の補完バスの実証運行【嶺南振興局、美浜町、若狭町】 ・コミバスによる市町を跨ぐ移動手段の充実について検討【若狭町】	拡充	検討・調整・準備		実施			県、市町、事業者(バス)
8	公共交通不便地区における移動手段の確保	・オンデマンド交通の導入について検討【小浜市】 ・デマンドバス導入準備(R3.4～試行運行開始予定)【おおい町】	・オンデマンド交通の導入検討を含む「地域公共交通計画」の策定(案)のとりまとめ【小浜市】 ・デマンドバス「うみりんスマイル号」運行(R3.4～試行運行)【おおい町】	拡充	検討・調整・準備		実施			県、市町、事業者(バス)、住民、関係団体
9	バスの運転手の確保・育成	・運輸交付金を通じ、支援【交通まちづくり課】 ・バス運転手採用説明会開催(R2.12)【交通まちづくり課、バス事業者】	・運輸交付金を通じ、支援【交通まちづくり課】 ・バス運転手採用説明会開催予定【交通まちづくり課、バス事業者】	継続	継続的に実施					県、事業者(バス)
10	キャッシュレス化の推進	・コミバス等のキャッシュレス化について検討【各市町】	・コミバス等のキャッシュレス化について検討【各市町】	新規	検討・調整・準備・可能な段階で実施					県、市町、事業者
11	AIやIoT等を活用した新モビリティサービスの導入	・グリーンスローモビリティ実証運行に向け、運行主体となる一般社団法人を設立(R3.3)【高浜町】 ・新モビリティサービス検討会において、先進事例などの情報共有	・グリーンスローモビリティ車両購入、6月より実証実験開始予定【高浜町】 ・モビリティサービスのシステム開発を関西電力と連携して実施【敦賀市】 ・新モビリティサービスの導入について検討【若狭町】	新規	検討	試行	実施			県、市町、事業者

事業2 まちづくりと連携した施策の展開

No	取組み(事業)	令和2年度実績	令和3年度(今後の予定)	新規/継続	スケジュール					事業主体
					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
12	駅周辺への都市機能・居住誘導	・新幹線敦賀駅前広場側周辺道路整備【敦賀市】	・新幹線敦賀駅前広場側周辺道路整備【敦賀市】 ・美浜駅前に美浜町地域づくり拠点化施設(道の駅)整備(R4.7月開駅予定)【美浜町】	継続	継続的に実施					市町
13	利用しやすい駅やバス停となるよう環境を整備	・若狭本郷駅前駐輪場改修(R2.11月着工、R3.3月竣工)【おおい町】 ・十村駅活用団体の設立、改修内容の検討、設計【若狭町】	・十村駅の改修工事【若狭町】 ・若狭本郷駅前道路舗装、ロードヒーティング改修等(R3.6月着工予定)【おおい町】 ・美浜駅前広場整備、シェルター設置【美浜町】 ・美浜駅の待合環境、コミュニティスペースの整備、トイレ改修【美浜町】 ・新幹線敦賀駅東口のキャノピー等の整備【敦賀市】	拡充	検討・調整・準備		実施			県、市町、事業者

嶺南地域公共交通網形成計画 進捗状況

資料5

事業3 公共交通サービス情報の充実

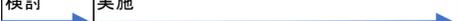
No	取組み(事業)	令和2年度実績	令和3年度(今後の予定)	新規/継続	スケジュール					事業主体
					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
14	嶺南地域の鉄道・バス等の路線全体が分かる乗り換えマップなどの作成	・鉄道とバスの乗り換えやレンタサイクル等の情報を盛り込んだ「嶺南地域公共交通乗り換えMAP」を作成、関係機関へ配布【福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議】	・「嶺南地域公共交通乗り換えMAP」を関係機関へ配布【福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議】	新規	検討	実施				県、市町、事業者、関係団体
15	嶺南地域内外の移動案内の充実	・「嶺南地域公共交通乗り換えMAP」を駅や観光案内所等へ配布 ・敦賀駅デジタルサイネージの設置について調整【嶺南広域行政組合】 ・敦賀駅、美浜駅、小浜駅前インフォメーションセンター等で乗継等を案内	・美浜駅へのデジタルサイネージ設置【美浜町】 ・敦賀駅デジタルサイネージの設置について検討【嶺南広域行政組合】 ・敦賀駅、美浜駅、小浜駅前インフォメーションセンター等で乗継等を案内	拡充	検討・調整・準備	実施				県、市町、事業者
16	鉄道・バス・レンタサイクル等の一体的な乗り継ぎサービスの提供	・新モビリティサービス検討会において、先進事例などの情報共有 ・地域別に導入の可能性を検討	・引き続き検討	新規	検討	試行	実施			県、市町、事業者、関係団体
17	経路検索システムへのバス情報の掲載	・福井鉄道、大和交通、美浜町コミバスがGoogle検索に対応	・コミバスについてGoogle検索対応予定【小浜市、若狭町】	継続	継続的に実施					県、市町、事業者(バス)
18	スマホアプリ等を活用したコンテンツの作成や情報発信	・SNSキャンペーン(＃つるがバスさんぽ)実施【敦賀市】 ・ホームページ「おばませんドットコム」の運営【嶺南地域振興推進協議会】	・ホームページ「おばませんドットコム」の運営【嶺南地域振興推進協議会】	継続	継続的に実施					県、市町、事業者、関係団体

事業4 観光周遊手段の提供

No	取組み(事業)	令和2年度実績	令和3年度(今後の予定)	新規/継続	スケジュール					事業主体
					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
19	観光スポットを周遊する広域バスの運行	・三方五湖エリア広域バスの実証運行(R2.12)【嶺南振興局】 ・実証運行を踏まえ、二次交通のあり方を検討【嶺南振興局、美浜町、若狭町】	・移動の利便性向上を図るため、三方五湖エリア広域バスを実証運行し、利用者アンケートや専門家の評価などを通してルートやダイヤ等を検証【嶺南振興局、美浜町、若狭町】	新規	検討	試行	実施			県、市町、事業者(バス)、関係団体
20	嶺南の周遊観光に資する観光列車・イベント列車の運行	・「丹後くろまつ号」の小浜線乗入れ運行実施(R2.10、敦賀～天橋立間)【嶺南地域振興推進協議会、小浜線利用促進協議会、嶺南振興局、若狭湾観光連盟、各市町】 ・南北モニターツアー開催(R2.11)【嶺南地域振興推進協議会、交通まちづくり課、小浜線利用促進協議会、各市町】 ・ぐるり若狭路魅力発見ツアー開催(R2.11～12)【嶺南地域振興推進協議会】※北近畿・関西在住者対象の日帰り個人旅行。タクシーでの周遊と小浜線の利用	・「丹後くろまつ号」の小浜線乗入れ運行を行い(秋、敦賀～天橋立間)、周遊滞在の方策について検証【嶺南地域振興推進協議会、小浜線利用促進協議会、嶺南振興局、若狭湾観光連盟、各市町】 ・南北モニターツアー開催(9～11月に計3回を予定) 【嶺南地域振興推進協議会、交通まちづくり課、小浜線利用促進協議会、各市町】 ・観光列車乗入れ運行に合わせてSNSを活用した写真募集、表彰【小浜線利用促進協議会】	拡充	検討・調整・準備・可能な段階で実施					県、市町、事業者(鉄道)、関係団体
21	特徴あるバス車両の運行	・レストランバスの有料運行を実施(15日間)【「海湖と歴史の若狭路」発信事業実行委員会】 ・小浜市レトロバスを海の駅(川崎エリア)と小浜西組を結ぶ新たな周遊ルートで運行【小浜市】 ・銀河鉄道999をモチーフにした「ぐるっと敦賀周遊バス」の運行【敦賀市】	・新たな観光素材の掘り起こしや着地型ツアーの造成を促すため、レストランバスの有料運行を実施(秋、20日間)【海湖と歴史の若狭路発信事業実行委員会】 ・銀河鉄道999をモチーフにした「ぐるっと敦賀周遊バス」の運行【敦賀市】	拡充	検討・調整・準備・可能な段階で実施					県、市町、事業者(バス)、関係団体
22	小浜線とバス等を乗り継げる周遊きっぷの企画	・実現に向け関係者間において検討	・引き続き検討	新規	検討	試行	実施			県、市町、事業者、関係団体
23	小浜線の駅からの移動手段の確保	・カーシェア実施事業初年度として、敦賀駅、美浜駅、上中駅、東小浜駅、若狭本郷駅、若狭高浜駅にシェアEVを各1台配備【敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町】	・引き続き、敦賀駅、美浜駅、上中駅、東小浜駅、若狭本郷駅、若狭高浜駅にシェアEVを各1台配備【敦賀市、美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町】 ・カーシェアの導入について検討【若狭町】 ・小浜市内において観光庁補助金を活用したデマンド交通実証実験を検討【DMO他】	継続	検討	試行	実施			県、市町、事業者
24	自転車による周遊の促進	・シェアサイクルの運用開始(R2.4)【敦賀市】 ・三方五湖エリアにおいて、地域ぐるみでサイクリング客をもてなす機運醸成や受入体制づくりのため、住民向けサイクリングイベントの開催やサイクルステーションの設置、サイクルマップ、PR動画の制作等を三方五湖エリア全体協議会において検討【嶺南振興局、美浜町、若狭町】 ・他県のサイクリングルートを視察(しまなみ海道、ピワイチ) ・嶺南広域サイクリングルート(案)実走 ・嶺南広域サイクリングルート検討会の開催 ・路面表示(矢羽根)整備【若狭町、嶺南振興局】	・シェアサイクルの運用継続および貸出返却拠点の追加整備(2箇所)【敦賀市】 ・三方五湖エリア全体協議会において、住民向けサイクリングイベントの開催やサイクルステーションの設置、サイクルマップ、PR動画の制作等を実施【嶺南振興局、美浜町、若狭町】 ・嶺南広域サイクリングルート推進協議会の設立 ・嶺南広域エリアにおけるサイクリング走行環境(ロゴマークの作成、路面表示等)、受入環境(ガイド養成、イベント支援等)の整備、情報発信(サイクリングマップ、PR動画制作等) ・路面表示(矢羽根)整備【若狭町、嶺南振興局】 ・エンゼルライン山頂駐車場へ、サイクルラックとベンチを整備予定【小浜市】	拡充	検討・調整・準備	実施				県、市町、関係団体
25	旅雑誌等による情報発信	・つるがシェアサイクル専用ホームページおよびSNSによる情報発信【敦賀市】 ・るるぶFREE(福井版)への掲載【敦賀市】 ・町PR記事について旅雑誌広告掲載【美浜町】 ・南北モニターツアーにあわせて、フリーペーパー小浜線特別号の配布【小浜線利用促進協議会】 ・フリーペーパー小浜線の発行【小浜線利用促進協議会】 ・ホームページ「おばませんドットコム」の運営【嶺南地域振興推進協議会】	・つるがシェアサイクル専用ホームページおよびSNSによる情報発信【敦賀市】 ・町PR記事について旅雑誌広告掲載【美浜町】 ・ホームページ「おばませんドットコム」の運営【嶺南地域振興推進協議会】	継続	継続的に実施					市町、関係団体

嶺南地域公共交通網形成計画 進捗状況

事業5 公共交通利用を促進する意識の醸成

No	取組み(事業)	令和2年度実績	令和3年度(今後の予定)	新規/継続	スケジュール					事業主体
					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
26	地域住民を対象としたモビリティ・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜線沿線スタンプラリー実施【小浜線利用促進協議会】</li> <li>小浜線利用ガイドマップの配布【小浜線利用促進協議会】</li> <li>町健康福祉課と連携し、コミバスの説明、予約方法や乗車体験の実施【美浜町】</li> <li>R3.4運行開始予定デマンドバスの周知【おおい町】</li> <li>町のメール配信システムにおいて小浜線やバスの運行情報を発信【おおい町】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜線の車窓から見える景色を向上させる事業に補助【小浜線利用促進協議会】</li> <li>小浜線開業100周年記念イベントの実施に対して支援【小浜線利用促進協議会】</li> <li>小浜線ガイドマップの配布【小浜線利用促進協議会】</li> <li>若狭本郷駅100周年ミニイベント(4/3開催)【おおい町】</li> <li>各種イベント時でのコミバス無料券の配布【美浜町】</li> <li>R3.4運行開始デマンドバスの周知【おおい町】</li> <li>町のメール配信システムにおいて小浜線やバスの運行情報を発信【おおい町】</li> </ul>	継続	継続的に実施 					県、市町、事業者、住民
27	児童・生徒を対象としたモビリティ・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜線を利用する親子を対象に「北陸おでかけバス」の購入費を補助【小浜線利用促進協議会】</li> <li>小浜線通学・通勤定期モニター事業を実施【小浜線利用促進協議会】</li> <li>学校が実施する公共交通機関の乗り方教室や校外学習、遠足利用時の運賃助成【小浜市】</li> <li>親子列車、団体列車の実施利用に係る補助金制度のチラシを配布【おおい町】</li> <li>バス絵画コンクールの実施(入賞作品の車内展示、全応募作品オルパーク展示)【敦賀市】</li> <li>コミバス等の広報やお試し乗車券の配布【美浜町】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス絵画コンクールを実施予定【敦賀市】</li> <li>小浜線通学・通勤定期支援事業実施【小浜線利用促進協議会】</li> <li>小学生が団体に小浜線を利用する場合の運賃を助成【小浜線利用促進協議会】</li> <li>学校が実施する公共交通機関の乗り方教室や郊外学習、遠足利用時の運賃助成【小浜市】</li> <li>親子列車、団体列車の実施利用に係る補助金制度のチラシを配布【おおい町】</li> <li>コミバス等の広報やお試し乗車券の配布【美浜町】</li> </ul>	継続	継続的に実施 					県、市町、事業者、住民
28	事業所を対象としたモビリティ・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜線通学・通勤定期モニター事業の実施【小浜線利用促進協議会】</li> <li>カー・セーブ運動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜線通学・通勤定期支援事業の実施【小浜線利用促進協議会】</li> <li>カー・セーブ運動の実施</li> </ul>	継続	継続的に実施 					県、市町、事業者、住民
29	住民が主体となった活動組織の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜線沿線の美化活動・環境保持を行うボランティア団体に活動費を補助【小浜線利用促進協議会】</li> <li>十村駅の活性化策について検討【若狭町】</li> <li>地域住民等ボランティアによる駅の美化活動【おおい町】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十村駅の運営について検討【若狭町】</li> <li>地域住民等ボランティアによる駅、バス停の美化活動【おおい町】</li> <li>小浜線沿線の美化活動・環境保持を行うボランティア団体に活動費を補助【小浜線利用促進協議会】</li> </ul>	拡充	検討	実施 				県、市町、事業者、住民、関係団体
30	公共交通利用促進グッズの製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜線トートバッグの作成【小浜線利用促進協議会】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小浜線グッズの作成【小浜線利用促進協議会】</li> </ul>	継続	継続的に実施 					市町、事業者、関係団体
31	沿線自治体による小浜線利用促進助成の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>回数券、団体利用者、高校生の通学定期購入等に対する助成【美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回数券、団体利用者、高校生の通学定期購入等に対する助成【美浜町、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町】</li> </ul>	継続	継続的に実施 					市町

# R 3 年度 三方五湖実証バスの概要 (案)

- 実施時期
- 運行日数
- 運行経路

令和3年9月～11月のうち連続する2カ月

21日間／土日祝限定

経路1 敦賀駅発着の三方五湖周遊ルート 3便程度／日

経路2 美浜駅発着の三方五湖周遊ルート 6便程度／日



○運賃 距離制運賃、乗り放題乗車券

●バス停

# 二次交通実証事業

## ■現状・課題

- ・J R小浜線については、運行間隔が長い時間帯がある。
- ・J R小浜線に接続する2次交通は、「西日本J Rバス(若江線)」、「町営バス常神三方線」「町営デマンドタクシー」の3交通である。
- ・北陸新幹線敦賀開業による観光誘客を図る中で、住民の交通弱者のみならず、観光客をも対象とした2次交通の充実が急務である。  
→特に、主要観光地間、主要駅を効率的に移動する交通手段の確保が必要である。
- ・近年、鯖街道が注目を集めており、三方五湖周辺と鯖街道熊川宿の2大観光地への周遊を企画し、首都圏、関西圏からの往来を増加させたい。

## 補完バスの試行運行

### A.小浜線補完バス実証運行

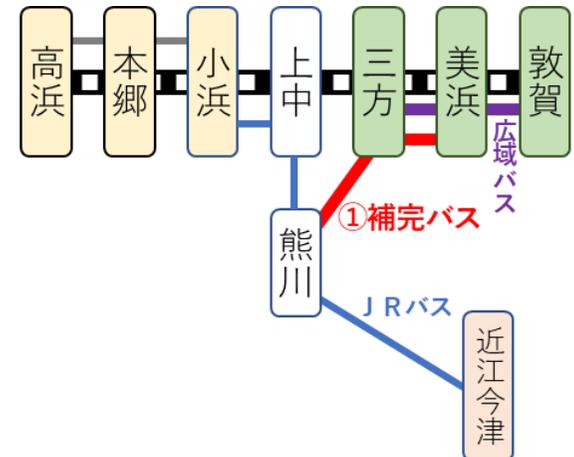
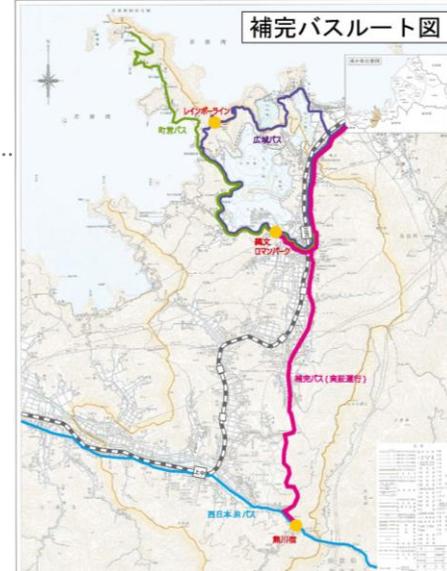
- 内 容：小浜線を補完する広域バスの延長  
(敦賀駅→美浜駅→三方駅→熊川宿)  
町内主要観光地、小浜線を結ぶバス運行  
(町営バス・広域バスと接続、レインボーライン→縄文ロマンパーク→三方駅→熊川宿)
- ル ー ト：美浜駅～三方駅(縄文ロマンパーク)～道の駅若狭熊川宿
- 運行数：1日3便 10日間予定

### B.利用促進

- 補完バス、カーシェア利用へ向けての仕掛けづくり  
→周遊パス・店舗利用チケット発行、レンタサイクル貸出など

### C.検証・改善検討

- 実証運行・カーシェアを含む町内交通の分析・検証



## ■今後の展開予定

- Step 1：R03／実証運行， 利用促進→分析・検証・改善
- Step 2：R04／実証運行， 利用促進→分析・検証・改善， MaaS構築
- Step 3：R05／本格運行

令和3年  
4月1日  
スタート

# 大飯地域で デマンドバスの運行を 開始します

問 総務課 ☎ 77-4050



## ■ デマンドバスとは？

路線や時刻を設定せず、利用者の要望（デマンド）に応じて運行します。他の利用者との乗り合いにより、効率的な運行を行います。

## ■ 『うみりんスマイル号』の運行内容

- ◆ 対象：どなたでもご利用いただけます  
※ 事前に利用者登録が必要
- ◆ 運行区域：大飯地域  
※ 名田庄地域での乗降はできません
- ◆ 運行日：平日（土・日・祝日・年末年始は運休）
- ◆ 運行時間：営業所発 7時30分  
最終利用者が目的地着 17時30分
- ◆ 運行車両：ワゴンタイプの車両2台で運行します  
※ 最大乗車人数 9人/台
- ◆ 乗車場所：停留所を設定しませんので、自由に乗降場所を設定できます。
- ◆ その他：未就学児は保護者と同伴で乗車してください。

## ■ ご予約方法

- ◆ 電話でのご予約  
予約センター（ワカサ交通株式会社） ☎ 0770-77-1955 ※ 予約受付は、平日 午前7時30分から午後5時まで  
予約期間は、2週間前から30分前まで
- ◆ Webでのご予約  
<http://c.casv.jp/urb/?a=7c89c86e-5876-4370-bcc7-9d23dc269c99>  
※ 利用者登録の際に、Web予約申込をされた人が対象となります。



### 1. はじめに

総務課

利用者登録用紙を総務課に提出！

### 2. はじめに

Web予約は、ご利用になりますか？

はい！

Web予約をご利用の場合は、ID・パスワードをお知らせします。

### 3. 予約（Aさんの場合）

ご利用の日時とお名前、乗車場所、目的地……

Aです。10時頃、買い物に行きたいの

オペレーターの案内で、電話で安心簡単予約！

### 3. 予約（Bさんの場合）

氏名は、Bで、乗車場所は、\*\*。  
9時40分病院に帰りは、〇〇時に

Web予約で、どこでも簡単！

ご利用の方法 例・乗り合いあり お帰りの利用もご予約を

### 4. 利用者宅へ

Bさん宅 9時30分 乗車

Aさん宅 9時20分 乗車

指定した乗車場所でバスを待つだけ！  
乗り合いがある場合は、順次伺います。

### 5. 目的地まで

Bさん 9時40分着

Aさん 10時着

順次、予約した目的地まで運行します。

### 6. 帰り

帰りもご利用の場合は、ご予約をお忘れなく！  
行きのご予約の際に帰りのご予約もできますので、ご活用ください。

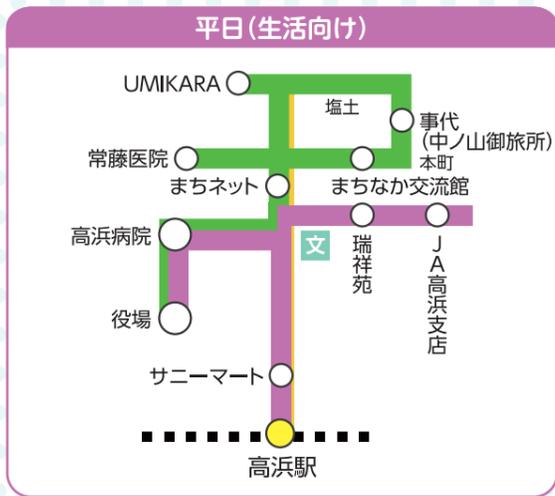
※ デマンドバス『うみりんスマイル号』は、令和3年4月から、試行運行開始し、10月から本格運行に移行予定です。

※ 画像はイメージです

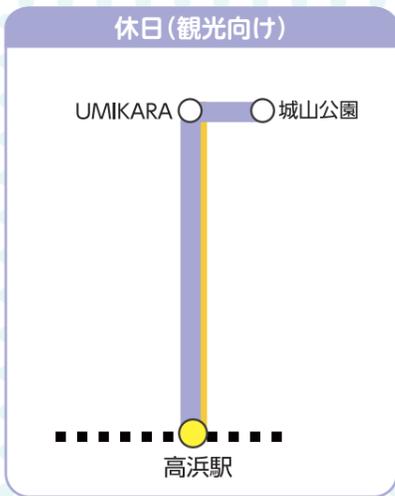


令和3年度の実証実験の対象となる区域は、生活施設、観光施設の集中状況を踏まえ、高浜地区と和田地区内の2エリアとします。2地区内それぞれで、生活向けと観光向けに分けた定時定路線運行(あらかじめ、走行ルート、停留所、目安時間を定める)の実験を行います。生活向けは、平日に実施、観光向けは休日に実施することとし、それぞれで下記のとおりルート設定を行いました。 ※走行開始日・時刻表など詳細については別添チラシにてお知らせします。

高浜地区運行ルート(案) 概略図

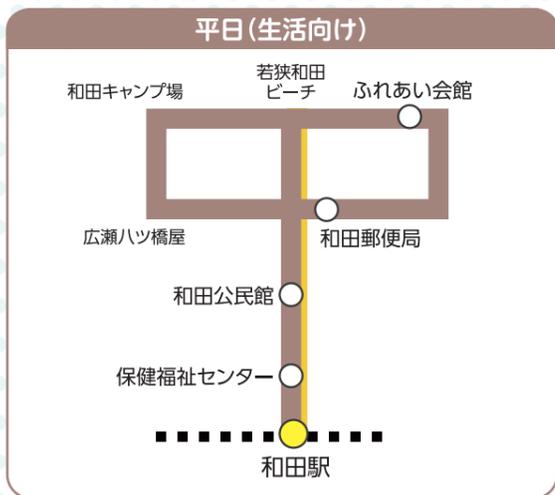


概略図

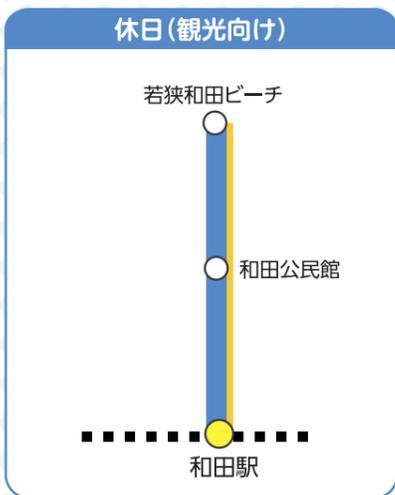


**【凡例】**  
 まちなか賑わいルート(平日)  
 生活べんりルート(平日)  
 高浜観光ルート(休日)  
 ● 既存交通との連携  
 黄色 フリー乗降禁止区間  
 ※この表示以外の道路も、道路交通法上の駐停車禁止場所はフリー乗降不可とします。

和田地区運行ルート(案) 概略図



概略図



**【凡例】**  
 和田生活ルート(平日)  
 和田観光ルート(休日)  
 ● 既存交通との連携  
 黄色 フリー乗降禁止区間  
 ※この表示以外の道路も、道路交通法上の駐停車禁止場所はフリー乗降不可とします。

地区・ルートの実証実験実施日と関係性

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平日	高浜地区 まちなか賑わいルート(平日) 生活べんりルート(平日)	高浜地区 まちなか賑わいルート(平日) 生活べんりルート(平日)	和田地区 和田生活ルート(平日)		高浜地区 まちなか賑わいルート(平日) 生活べんりルート(平日)	和田地区 和田生活ルート(平日)
土日祝日	高浜地区 高浜観光ルート(休日)	高浜地区 高浜観光ルート(休日)	和田地区 和田観光ルート(休日)			

実験では、通常の運行のほか各種イベントでの走行、利用者がアプリを通じて、グリーンスローモビリティの位置情報や、乗車状況を確認することができるようなシステムも検討する計画です。  
 実験中は、高浜・和田地区内をグリーンスローモビリティが低速(約20km)走行することになります。是非この機会にご利用いただくとともに、通行の際はご注意くださいようご協力をお願いします。



# グリーンスローモビリティの実証実験を行います

## グリーンスローモビリティの計画に至った背景

### 町内の公共交通における課題

高浜町内には様々な公共交通が存在しており、なかでも町民の方向けに運行している「赤ふんバス」は、町内公共交通の主軸となっています。  
 また、公共交通とまちづくりを効果的に組み合わせ、町民の方々の外出促進や観光振興を図ることにより、中心市街地の活性化を促進することを進めていますが、現状では以下の課題があります。



グリーンスローモビリティとは  
 電動で、時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の乗り物です。

### 町民にとっての課題

定着しつつある「赤ふんバス」は都度料金制、都度予約制となります。このため1度外出されても、1つの目的を終えるとそのまま帰路につかれる方がほとんどとなっています。現在、フリーパス制度の実証実験を実施しているところですが、これにより2次移動、3次移動が促進され、中心市街地が活性化されるような状況には至っていません。  
 また、赤ふんバスは、1回あたり300円の料金設定であることから、短距離利用が中心の方(特に病院やスーパーなどが密集する中心エリア内に在住の方々)にとっては利用意欲がわかず、結果として外出自体が抑制されているケースも見受けられ、健康増進、地域福祉上の観点からも課題となっています。

### 観光客にとっての課題

「赤ふんバス」は町内在住者以外は原則利用できません。よって、公共交通を利用する観光客が、JR小浜線や京都交通バスの駅から町内商業施設・観光場所(海水浴場等)に向かうためには、現状ではタクシー以外に手段がなく、このままでは北陸新幹線開業により嶺南地域の観光事情が目まぐるしく変化するなかで、観光需要を十分に取り込むことができず、町の活力が衰退する可能性があります。  
 加えて、今年の7月には高浜地区に、海の6次産業施設「UMIKARA」がオープンするため、高浜町にとって観光利用者をも考慮した2次交通網の構築は喫緊の課題です。

## グリーンスローモビリティを導入することによる課題解決の可能性

高浜町はエネルギーの先進地域として、低炭素でスマートなまちづくりに積極的に取り組んでおり、公共交通の分野でも新たな仕組みを取り入れながら施策を推進してきました。  
 そのなかで、前述した町民の皆さんや観光客にとっての公共交通の課題解決を図る1つの手段として「グリーンスローモビリティ」を導入するべく、関係団体(商工会、観光協会、シルバー人材センター、高浜町)により「一般社団法人 高浜町二次交通推進まちなか活性化協議会」を設立し、導入計画の検討を進めてきたところですが、今年度より実証実験運行を実施する運びとなりました。  
 この「グリーンスローモビリティ」は、「赤ふんバス」を補完する新たな公共交通として、①中心市街地内を、②無料で、③定期周遊する形で運行し、狭隘(きょうあい)な道路でも運行が容易であるなど高浜町の環境にも適しているとともに、また、低速であるがゆえに車内・外でもコミュニティが生まれ、乗り合わせた人同士を笑顔にするモビリティです。更に、観光客にとっては非日常を体験でき、乗車すること自体が観光目的の1つにもなり得ることから、高浜町の新たな名物として様々なイベントへの活用といった可能性もあります。